

早稲田大学 2022年度
法学部 国語

(一)

問一 a 口

b 八

問二 口

問三 イ

問四 ニ

問五 ホ

問六 ホ

問七 口

(二)

問八 口

問九 ニ

問十 ホ

問十一 八

問十二 妓

(三)

問十三 A 臨機

B 融通

問十四 八・二

問十五 ニ

問十六 口

問十七 八

問十八 イ

問十九 口

(四)

問二十 イ

問二十一 ホ

問二十二 口

問二十三 ニ

問二十四

自己の反対物として否定的に措定された「他者」ではなく、個々人が固有の身体をもち各々の情動や感覚を通して、自己の現存の価値観では理解不能な主客の二分法を超えた世界を経験する〈他者〉であると認め合うことで生の潜在性を学び、自他の関係性が再編され変容していくなかで、自己や世界を多元化・豊饒化し、現代社会に有意義な「関係性の政治」を可能にすることが期待される。(177字)